



from 東北

全国の諸教会の皆様、日頃から祈りと献金によるお支えをありがとうございます。東北も暑い夏を迎え、簡易なつくりの仮設住宅で暮らしている方にとっては厳しい日々が続いています。今年の夏も東北の教会は、西南学院をはじめ、様々な学校からの学生ボランティアを受け入れることになっています。それぞれのプログラムが守られ、良い出会いが与えられ、良い働きをなすことができるようにお祈りください。今号は、幼稚園などの子どもプログラムが連盟震災支援募金によって支えられている福島旭町教会の報告、東北の中でも日本海側の県の一つである山形教会の支援活動報告をお届けします。

福島旭町キリスト教会の報告



いつもお祈りとご支援を感謝いたします。震災後、沢山のおともだちと保護者が園や教会を離れていきましたが、2014年になり敷地内に牧師館を緊急対応に備えて建築しました。国内外より沢山の方々がこの3年間に支援のためにお寄りくださいました。

その方々の宿泊や突然福島へ帰宅する家族にも滞在中の癒しの空間作りをしています。現在教会には、園児から生徒まで子どもだけでも約50名ほどおります。福島こひつじ幼稚園の小さな年齢層の園児は、今まで外遊びが出来ない状態でしたが、30分程の間、除染が終わった園庭で遊べるようになりました。この除染は地域も含めて何度も行われています。(但し、地面に落ちている落ち葉やお花は触らないなどの注意をしています。園庭の杏子、金木犀、柿、柚子の木は除染によって伐採されています。)

昨年より日本バプテスト連盟のご支援によって、教会員と子どもたちとその保護者へ、甲状腺検査のご案内をさせて頂きました。甲状腺検査には地域の方も含めて120名位の方々が、2度にわたり受診にいられました。甲状腺検査を未受診の保護者も大変感謝しておられます。しかし、最も問題と思われるのは震災後の大人たちの精神的な疲労感が増していることです。

保護者の中には職場の残業、人手不足の問題を抱え、夜間までの長時間労働対応のため、遅くまで迎えに来られず、かなりの疲労を感じる方が増加しています。また疲労や身辺への心配も含め、健康被害や鬱などの病状を抱える方が増えています。小・中学生にも喘息、くる病、骨折が増えています。連盟のご支援によって、春、夏、冬休みに、各年齢層の避難保養プログラムを行い、安心して思い切り深呼吸できるように、健康に気を配るように心掛けています。本当は長期にわたり避難させてあげたいところです。遠方からの食料などのご配慮を嬉しく思います。

また、お子さんがいる仮設住宅2か所にも1年に3回ほど、子どもたちを連れて讃美のプレゼントや行事のおさそいをしながら、お訪ねしています。教会員の子どもたちは、同年齢のおともだちを目の前に、希望なるイエス様をご紹介することが出来ました。ご覧になっている方の中には祖父母に子どもを託して遠方に働きに出られている方もおり、涙を流される方がおられました。私たちは今、教会が大きな家族化していることを日々実感しています。引き続きご支援賜りますよう宜しくお願いいたします。

(福島旭町キリスト教会 小久保信子)



1年に3回仮設住宅を訪問 1 こひつじ幼稚園の様子 1 避難保養プログラム

被災地の近くにあって、後方支援 -山形教会の支援活動-



1 大好評の手製ハンドクリーム



1 ハンドクリーム作りの様子



1 色鮮やかな押し花のカード

山形県は、2011年3月11日の東日本大震災では、停電や停電による断水で短期間不便を強いられたものの、直接的な被害はありませんでした。山形キリスト教会は、震災直前から2013年3月までの2年3カ月の間、無牧師だったこともあって、被災地に立地する教会に米や布団を届けるといった単発的な支援活動や、被災者の方々にお渡しする裁縫箱セット作りにとどまっておりました。それでも、教会員の中に薬の調合のできる資格を持った薬剤師がおりますので、手製のハンドクリームを作っては、毎年、被災地にある教会を通して、被災者の方々にお届けしています。このハンドクリームは、市販のものに比べて手に優しく、とても好評です。

牧師が赴任してからは、連盟・東日本大震災現地支援担当の金子千嘉世副理事長(現郡山コスモス通りキリスト教会牧師)、盛岡教会の大須賀真人・綾子牧師夫妻とタイアップして、岩手県大槌町での支援活動に協力させて頂いておられます。

1 大槌町小釜の仮設住宅での、押し花作りの様子 1



主に小釜第4仮設、第7仮設を訪問させていただいておりますが、毎回、教会員が作ったケーキを持参してお茶っこと加わったり、押し花制作、クリスマスリース作りをするための材料提供などで協力させていただいております。押し花の素材はどこにでもありますから、自分で素材作りまで関心を持つようになっていったら、少しは気がまぎれるのではないかと祈っています。

山形教会では、そろそろ「ハンドクリーム」作りと「押し花クリスマスカード」作りに取りかかります。クリスマスカードに関しては、女性が中心になって、それぞれの感性やセンスを生かして、楽しみながら作ります。それを多くの方々に買っていただいて、被災地支援に献金いたします。

(山形キリスト教会 杉山修一)